

防災

令和6年9月1日

No. 167

消防署訓子府支署
訓子府消防団
危安協訓子府部会

9月1日は防災の日

防災の日は、災害についての認識を深めそれらの災害対処する心構えを準備するために昭和35年に制定されました。9月1日という日付は1923年9月1日に関東大震災が発生し、大きな被害をもたらしたこと、8月から9月にかけて台風の接近、上陸が多いことに起因します。この時期は災害の発生が多いため、万が一の事態について考える時期といえるでしょう。

地震がきた時、どこにいるか、誰といふか、どこに逃げるか、
いつどこで来るかわからない地震、どの場所でも落ち着いて行動できるように
対策方法を確認しましょう！！

屋内にいる時に地震が来た！どうしたらいいの？

まずは落ち着いて、身の安全を確保しましょう。

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れましょう。
- あわてて外に飛び出すのは危険です。地震は1分程度でおさまるので、周囲の状況をよく確かめてから避難しましょう。
- ガスコンロや暖房器具を使用している場合は、その場で消せるときは消火します。危険ですので、無理に火を消しにいかないようこしましょう。
- 扉を開けて、避難経路を確保しましょう。



外出時はどうしたらいいの？

パニックにならず、冷静な行動を！

- 住宅街
 - ・ブロックや塀が倒れる危険がありますので、離れましょう。
- 駅
 - ・カバンなどで頭を守り、大きな柱の側に移動しましょう。若しくはその場で姿勢を低くしましょう。
 - ・駅員の指示に従いましょう。
 - ・ホームから落下しないように注意してください。
- 車を運転中
 - ・ハザードランプを点灯して徐々に減速しましょう。
 - ・道路の左側に停車し、エンジンを停止しましょう。
 - ・駐車場や空き地がある時はそこに停車し、キーを付けたままドアロックはせず、連絡先メモを残します。
- スーパー・デパート
 - ・頭をカバンなどで保護しましょう。
 - ・店員の指示に従い避難しましょう。
 - ・商品棚が倒れる危険性があるので、近寄らないようにしましょう。
- 山間部
 - ・土砂崩れの危険があるので、速やかに斜面や崖から離れましょう。





いのちを守る10のポイント

4つの習慣



1 寝たばこは絶対にしない、させない



3 こんろを使うときは火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



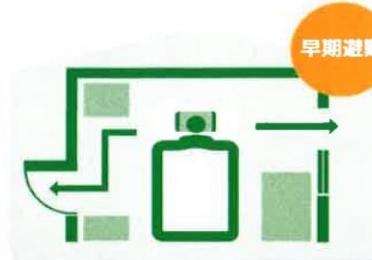
2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



火事・救急・救助は119番



☆町民の皆様へお願ひ、、、

緊急時の際は必ず119番通報をしてください。

